

畜産試験場 平成24年度試験研究事業一覧表

一般研究事業（県単）

（単位：千円）

番号	新規	事業名	開始	終了	予算額	事業内容
1		飼料米(粳米)活用による若狭牛づくり	23	25	2,110	牛肉が低価で推移していることや飼料価格の高止まりなど肉牛農家は厳しい経営状況にあるため、飼料米(粳米)を利用した低コスト飼養技術を確立するとともに、飼料米給与による安全安心な若狭牛の提供を図る。
2	○	泌乳ステージに応じた乳牛への飼料用粳米多給技術の確立	24	26	2,857	乳牛の泌乳量に応じた最適な粳米の多給技術を確立し、低コスト化を図る。
3		ふくいポーク種豚生産試験事業	4	—	5,257	福井県のブランド豚「ふくいポーク」の生産に必要な種豚の生産を行う。
4		子豚から飼料米を食べた元気でおいしいふくいポークづくり	23	24	1,148	養豚農家の生産性を向上させるため、子豚への米粉発酵飼料の給与によって育成率を向上させる技術の開発、および肥育期の飼料米(粳米)の給与技術を確立する。
5	○	粳米配合飼料による鶏卵生産技術の確立	24	25	779	飼料米を配合して給与したときの産卵率低下の原因と考えられるたんぱく質を他の原料で補正し、産卵率の低下を防止する技術を確立する。
6		自給飼料生産試験事業	S37	—	1,426	本県の気候・風土に適した飼料作物の品種選定および収量を向上させる栽培技術を確立する。
合計					13,577	

地域科学技術振興研究事業（特別電源所在県科学技術振興事業費補助金）

番号	新規	事業名	開始	終了	予算額	事業内容
7		受精卵移植を活用した病気に強い乳用牛の効率的な生産技術の確立	22	25	3,864	県内の乳牛は乳房炎にかかる確率が高いため、県内にいる乳牛のうち遺伝的に乳房炎に強い優良な牛を探し出し、またそれら優良な遺伝子を持った子牛が効率的に生産される受精卵移植技術の確立を図る。
8		黄体ホルモンを活用した牛受胎効率向上技術の開発	23	25	3,182	本県の乳牛は1頭あたりの生産乳量や分娩回数が全国に比べ少ないことから、黄体ホルモン製剤(発情不明な牛の排卵を整える製剤)を用いて、黄体ホルモン値および血液性状値との関係を解明することにより、受胎率を向上させる技術を確立する。
9	○	飼料用稲生粳サイレージの増収・品質向上・省力化技術の開発	24	26	4,005	大幅な省力化が期待できる生粳サイレージ(破碎処理した生粳を密封して発酵させたもの)の収量性や品質、保存性の高い製造技術を確立する。
10		カニ殻を利用した良質畜ふん堆肥づくり	23	25	2,412	本県の冬は牛糞の堆肥化に必要な発酵温度が十分には確保しにくいことが課題となっている。カニ殻に含まれるキチン・キトサン(糖類の一種)は堆肥の発酵温度を上昇させる効果があり、廃棄されている越前ガニの殻を牛糞に混合して発酵を促進させることにより冬季でも良質な堆肥を生産する技術を開発する。
合計					13,463	

畜産試験場 平成24年度当初予算 備品整備事業一覧表

地域科学技術振興研究事業（特別電源所在県科学技術振興事業費補助金）

（単位：千円）

番号	備品名称	予算額	うち 一財	関連研究名	研究 番号	使用目的
1	ホルスタイン経産牛	1,150	0	受精卵移植を活用した病気に強い乳用牛の効率的な生産技術の確立	7	乳房炎という病気に強い遺伝子を保有している牛を用いて、複数の卵子を採取して受精卵をつくり、乳房炎にかかりにくい牛を生産する。
2	飼料米破砕機	1,701	0	飼料用稲生籾サイレージの増収・品質向上・省力化技術の開発	9	籾内の玄米のデンプンを使って発酵させる生籾サイレージは、籾殻を破砕する必要がある。本装置で破砕した生籾を用いて、品質および保存性の高い生籾サイレージを作るための技術確立する。
3	恒温振とう培養機	1,029	0	カニ殻を利用した良質畜ふん堆肥づくり	10	一定の温度を保ちながら培地に酸素を供給できる本装置を使用して、さまざまな菌を大量に培養し、堆肥の発酵に関わる菌を選出する。
合計		3,880	0			